

電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

1 調査の実施方法について

- ※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。
- ※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-1-1	世帯で1つ。項目によって、第1子は…、第2子は…、第3子は…、と項目を追加する。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-2	葉山は兄弟が多い家庭が多いので、書く方は世帯で1つのほうがうれしいです。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-3	回収率を上げることと、精度を上げることと、どちらが優先順位が高いかで、1世帯1通にするか、お子さんの数だけ送付するのか、決める必要があるのではないかと思います。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-4	回収率を上げるためには、調査票の質問の量から言うと、1世帯あたり1通で、子どもの数をかけて（×子どもの数）、集計がいいでしょう。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-5	正確な数値を出すのであれば、下の子が何歳になったら仕事復帰するとか、仕事を始めるといった言い方が多くみられますので、お子さんの数だけ必要だと思えます。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-6	世帯で1つにして、家庭数を増やす方がベターである。	全数調査を実施します。
2-1-7	「国の示した調査票どおりに調査を実施する」のであれば、実施方法についても何か基準があるのでは。	郵送で送付することと抽出調査が基本となっています。
2-1-8	世帯で1つの場合、「宛名のお子さん」の年齢、性別など兄弟の中の誰にするのか、その決め方についても考える必要はありませんか。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。

2-1-9	兄弟が多いと大変かと思うが、乳幼児期と学童期がいらっしゃる世帯に関しては別々に、同一世代のお子さんがいらっしゃる世帯に関しては1つの調査票で、実施するのはいかがでしょうか。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-10	未就学児のいる世帯。	未就学児が対象となっています。
2-1-11	子育て支援を行う前提として、①親、②子ども、③受け入れ側（保育所、学童、その他）にとって、幸せに思える支援だと幹が増す。この調査は利用者①②の意見の反映が必要です。親だけが利用するのではなく、子どもそれぞれの年代による違いもふまえて、調査が必要なのでは。記入は大変ですが、該当児童ごと。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-12	世帯で1つの調査票にするべき（回収率を上げるためにも）。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。
2-1-13	世帯で1つがよいと思います。	できる限り正確なデータを把握するため、児童ごとに調査票を送付します。

電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

2 質問項目の表現について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-2-1	表現がわかりづらいが、このままでも可。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-2	地域子育て支援拠点事業、子育て支援センターは、葉山町ではどのようなことをしていますか。具体的に書いてもらおうとわかりやすいです。ことばの教室はここに入りますか。	用語の定義などで具体的に明記します。
2-2-3	大丈夫だと思います。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-4	けがをしたお子さん、病児・病後児を預けることができる施設（問22に出てくる）は葉山町にあるのですか。加えて、休日、夜間、宿泊の預けることができる施設についても教えてください（葉山町になくても、逗子・横須賀にあるなど）。	現在はありません。
2-2-5	葉山町で実施している子育て支援事業がどのようなもので、どのように行われているかなど知らない方が多い。一覧表を資料としてつけたらいいのではと思う。	用語の定義などで具体的に明記します。
2-2-6	質問が細かいと思いますが、「国の示した調査票」なら仕方ないのかとも思います。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-7	「回答するにあたって」1頁が何を言いたいのか、わかりにくいです。この文章はどこから引用されたのでしょうか。出典を教えてください。意図するところがわかりにくいと思います。量の見込みを市町村が算出する資料になる調査であることをわかりやすく表現してください。	国の子ども・子育て会議で議論された文章です。わかりやすい表現になるように検討します。
2-2-8	問19「○○○○」には何が入るのでしょうか。	第2回会議で検討します。
2-2-9	□内に記入する項目がありますが、□の大きさが小さいように思います。	検討します。

電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

2 質問項目の表現について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-2-10	わかりやすいと思うが、回答内容が共働き向きになっていて、子育てがしにくい、あるいは難しいと感じる人にとっては、回答しにくいものがあると感じる。例えば、就労状況の把握はするけれども、その家庭の子育てのしにくさであったり、なかなか見えにくい調査票のような気がする。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-11	わかりにくくもないが、わかりやすくもない。多いので時間がかかる。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-12	17頁、※「放課後子ども教室」は実施されていませんし、今回の支援対象外とのこと。期待をもたせる表記になるのではないのでしょうか。	検討します。
2-2-13	学童クラブは現状、子どもが行きたがらなく（この要因は様々です、場所、活動内容、送迎など）、自宅で留守番も多いようです。単に利用したいかしたくないかの希望は、現状の学童を希望するのかわでは実数はとれるのでしょうか。「～」だったら利用したいの「～」を調査しなければ、現状は変わらないと思います。	基本的には国の調査票どおり実施します。
2-2-14	2頁、認定こども園の対象年齢は。0～5歳児でよいか。	そのとおりです。
2-2-15	14頁、問22-5の「休んで見ることは非常に難しい」と、問22-6の「休んで見ることは考えられない」は表現不一致。	国の訂正漏れのため、表現を「休んで見ることは非常に難しい」に統一します。
2-2-16	17頁、問26の※2「放課後子ども教室」は、現在はないが、結果によっては（量の見込み）計画の対象になるのでしょうか。	検討します。
2-2-17	わかりにくくはないが、質問が長すぎて読むのが大変。読む気にならない。	基本的には国の調査票どおり実施します。

電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

2 質問項目の表現について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-2-18	問17、問18利用回数について。1週あたり、1ヶ月あたりでは、定期的な利用になってしまう。「時々」などの表記も必要ではないか。月2～3回、年数回など。	検討します。
2-2-19	調査の目的をわかりやすく伝え、自由意見箇所を増やすことで正確なニーズをつかめるとよいと思います。	検討します。
2-2-20	16頁「地域子育て支援拠点」が、現在の葉山町におけるどのような場を指すのか。補足や名称（「葉山町〇〇」）のように書かれてあるとよい。	用語の定義などで具体的に明記します。



電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

3 町独自の質問項目について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-3-1	「葉みんぐ」を活用しているか。「葉みんぐ」の不足項目は。	第2回会議で検討します。
2-3-2	保育したくない理由は（保育に欠ける人の発掘）。	第2回会議で検討します。
2-3-3	保育費、教育費に関して困っていること（習い事）は。	第2回会議で検討します。
2-3-4	担い手になる気持ちや時間あるか。	第2回会議で検討します。
2-3-5	保育者（祖父母）への支援（講座、教室など）。	第2回会議で検討します。
2-3-6	民間の活動（保育援助）を知っているか、利用しているか。	第2回会議で検討します。
2-3-7	毎日の保育に満足しているか。何が不満か。	第2回会議で検討します。
2-3-8	最近、葉山町内で横須賀の幼稚園バスをよく見かけます。問15の項目に、葉山以外の幼稚園等を利用している方へその理由を聞いてみると、ニーズが見えてくるのではないかと思います。	第2回会議で検討します。
2-3-9	問19の選択項目に、葉山町では児童館等での「ひろば」があると思います。また、3才児向けの子育てサークル、ぽけっとにおいても、お子さんの月齢に合わせたサークルがあるかと思っています。	第2回会議で検討します。
2-3-10	保育人材の調査。	第2回会議で検討します。
2-3-11	住居が持ち家かどうかを問い、ずっと葉山に住むのか動向を知る。	第2回会議で検討します。
2-3-12	民間の事業に参加、利用しているかどうかの問いが必要。	第2回会議で検討します。

電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

3 町独自の質問項目について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-3-13	長期的保育人材が葉山町でどのくらいいるか設問を行う。	第2回会議で検討します。
2-3-14	「国の示した調査票」であれば、町独自の質問を行ってもよいのでしょうか、許されるのでしょうか。	差し支えありません。
2-3-15	今回送られてきた調査票のうち、町独自の項目はどの部分にあたるのか教えてください。また、会議の際にお願いした点が訂正されていないのは、「国の示した調査票」だからなののでしょうか。	未反映です。国の調査票が確定してから、町独自の部分について反映する予定です。
2-3-16	町独自の質問項目を教えてください。質問項目から町のお考えを伺いたいと思っています。	事務局案と委員からいただいた案を第2回会議でお示しします。
2-3-17	葉山（逗葉地区）には、自主保育活動をされている方が多いので、問15-1にそのような回答欄があった方がいいと思います。たくさんのグループが活動されているので、葉山町として認知してほしいです。	第2回会議で検討します。
2-3-18	葉山独自の質問として、この自然環境を活用した子育てに何を望むのかとか、葉山町の次世代育成のスローガン（基本理念）になっている「海とみどりにはぐくまれのびのび育て葉山の子」とありますが、その理念をさらに実現していくのにどんな子育て支援が考えられるか、子育て世代の皆様にご提案していただけるような設問があると思います。	第2回会議で検討します。
2-3-19	例えば、葉山町として考えたときに、保育園なら「送迎の負担」、学童期であれば「登下校の不安」は、多くの親御さんがお持ちだと思います。特に葉桜、イトーピアは葉山町への直接の交通機関が徒歩か自家用車に頼ることも多く、引っ越して地域の違いに驚いたものです。葉山町＝アクセスの悪さを感じています。	第2回会議で検討します。



電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

3 町独自の質問項目について

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-3-20	ぽけっとの利用状況。ぽけっとの広場の時間短縮について（問題ない、困っているなど）。	第2回会議で検討します。
2-3-21	兄弟の多い葉山、それゆえに困っていることはないかの質問（1人は学童（1～3年）、1人は学童なし（4～6年）で夏休みは困るなど）。	第2回会議で検討します。
2-3-22	学童保育について、学童保育の場所の希望についての質問があったらよい（児童館以外、学校の空き教室（一色小の新館等）、近くだったら利用したい人もいるのでは）。	第2回会議で検討します。
2-3-23	（親の就労に関係なく、）学童保育を利用したいかどうかの質問がほしい。	第2回会議で検討します。
2-3-24	この調査が子どもたちの健やかな成長を目標とされているのならば、アレルギーの有無や地域での食事、運動ケアなどの相談先、話し合う場の需要がどれくらいあるのか、調査の必要があると感じます。	第2回会議で検討します。



電子システム構築のための事前調査（ニーズ調査）調査票へのご意見

4 その他自由意見（全般）

※ 事前にいただいたご意見等を事務局でまとめたものです。

※ ご意見は事務局で内容を確認し、適宜分類しています。

整理番号	質問事項	対応案
2-4-1	新制度の運営ということで需要・供給を供覧すること。保育も給付となるなど、システム化必至と考えます。	計画策定の方法については、国から示される予定です。需要と供給について計画に盛り込むようにします。
2-4-2	回収方法について、保育所、幼稚園、学校等の協力を得て、回収率を高めていくとよいと思います。	未就学児には郵送しますが、別途、関係者への協力も検討します。
2-4-3	数年前にニーズ調査をやりましたが、子どもも小さく、育児の合間にやり、質問内容の多さに負担を感じた記憶があります。もう少し質問内容の絞り込みができればよいと思う。	国から示された質問項目については、基本的にすべて実施する予定です。
2-4-4	記入の要因として、量の調査は実施とのことですが、質の調査はあるのかないのか分からないの記載となりました。やはり質の良し悪しで量も変動するかと思います。	基準等については、現在、国の子ども・子育て会議等で議論されています。
2-4-5	実施時期は全国一斉ですか。	国の示す標準的なスケジュールでは、12月に集計結果を県に報告することになっています。県内市町村では、横浜市が先行して実施していますが、他市町村では10～11月での実施予定がほとんどです。

